

時間の使い方 楽しみ方の達人

レオン自動機株式会社 代表取締役社長：林 啓二

会社は人が全て

レオン自動機(株)が製造販売しているパンやお菓子などの食品機械は「手作り同様の味が出来る」と国内外で賞賛され高いシェアを占めている。レオロジーに由来する社名には、製菓業を営んでいた創業者の林虎彦(はやしとらひこ)名誉会長の「社会に貢献する企業を目指す」という思いが込められている。「食文化に貢献し、社会のために役に立つ企業を目指す」というレオンスピリットは、2代目林啓二氏に



Profile



林 啓二 (はやし けいじ)

昭和28年生まれ。鹿沼市出身。昭和51年東京電機大学工学部卒。レオン自動機入社。製造部、コンピューター部門を経て、1999年に専務に就任。2005年6月現職に就く。カメラが好きで、一眼レフカメラでその季節、その地方の風景や花を写すことを愉しんでいる。

次につながる反省

する。「健康であって仕事が充実する。人が良ければ良い商品も生まれる。適材適所に配置するためにその適材を育てる」と言うが、まさに林社長自らがお手本のよう。

男4人兄弟の2番目として生まれ、小・中学校時代には栃木県健康優良児や鹿沼市徳行善行優良児として表彰されている。学級委員長や生徒会役員の常連で、人望が厚く取りま

もしっかりと受け継がれている。

「会社の理念がしっかりしているので、自分は楽なんです」と謙遜。世の中の動きが急速に変化し、人の価値観やニーズも移ろいやい世にあって、変わらないことが難しい今日。「次の人にうまく伝えることが使命」という言葉の裏には、人には見せない努力と苦心があるはず。

「会社は人が全て。人をどう教育するかが重要」と、健康管理から教育まで社員を大切に

とめ役として才能を発揮していた。さらに、大学3年で大学祭の実行委員長として、全国から集まったさまざまな価値観の学生たちを束ねた経験を持つ。

「人間だから好き嫌いはあるが、文化、生い立ち・主義主張が違うさまさまな人とも交流してきた。コツは、普通に接すること。正直に接すること。良いものは良い、悪いものは悪い、是々否々の態度を貫く姿勢こそが、林氏の柔軟でキャバの広い人柄を創りあげてきたのかも

しない。

そして「興味のあるものは全てやってみる。自分で体験しないとわからない」というスタンスを貫く。それは、仕事で年10数回行く海外でも同じ。「現地に行ったら現地の物を食べる。路上の屋台の物も平気で食べる。食べてみないとわからない」と食事や文化の違い、はては時差まで、全てに順応するしなやかな心身を持つ。

失敗はないのかの問いにも「失敗をどういうふうに捕らえるかだ。反省はあるが、それを失敗とは捕らえない。失敗したと後悔するのではなく、次につながるために反省する」。このポジティブな考え方が、マイナスもプラスに変えてしまう。

仕事を楽しむ

「一生懸命勉強して、一生懸命遊んだ。社会にでてからのほうがいっぱい勉強しているかな」と笑っていたが、確かに、時間が足りないほどやらなければいけない事、やりたい事がいっぱいある様子。そして、仕事を大いに楽しんでいるのがいい。「仕事も人生のうち。仕事を楽しんでやらなければ、こんな苦痛はない。楽ということではなく、真剣にまじめに取り組んだものが成果を出す楽しみ。楽しくやるためにはどうするか。ネガティブに考えたら苦しみしかない」という言葉に、仕事を通して自己を高めていこうという姿勢がうかがえた。

「その分、家族には迷惑をかけている」と。仕事優先の人生と言いつつも、3人の息子さんのために、できる限り学校にも足を運んでいた。野球部保護者会長を務めたほど。でも「忙しい」とは言わず「楽しい」と言ってしまうのが林氏らしい。時間の使い方、楽しみ方の達人なのだ。

大学の学長の教え「温故知新」を、今も座右の銘にしているという。初代社長の作り上げたレオンスピリットを大切にしながら、時代のニーズに応えようとするこの会社には、まさに、うつつの存在と言えよう。

レオンの食品生産機械は世界中の「おいしさ」をつくります。

和菓子・洋菓子・調理製品・ペストリー・食パン・菓子パン…
レオンの食品生産機械は、日本はもとより世界110の国々で、さまざまな民族食や伝統食の生産に使用されています。これからもレオンは、食品生産機械のバイオニアとして食品産業の発展に貢献してまいります。

レオン自動機株式会社

● 本社 / 〒320-0071 宇都宮市野沢町 2-3 TEL: 028(665)1111 FAX: 028(665)3256
● 国内営業所 / 札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・岡山・広島・福岡
● 海外 / アメリカ・ドイツ・フランス・台湾

URL: <http://www.rheon.com>
E-mail: info@rheon.com

